

夢、私たちに。 わたしのひとこと



地域おこしは自らの手で

深空 降簾 良昌

観光として生きる白馬村は、世界経済の急激な悪化による円高ドル安、又ウォンが大きく下落している韓国など。外国観光客が増加してきた当村にとっては厳しい時を迎えています。しかし、インパウンド推進を怠ることなく、これからも海外に向けて情報発信を活発に続けることが、当村発展に繋がることと思います。さて、このような時こそ観光を支えるために、地域おこしが益々必要であると考え、地域の人達が行政に「おんぶにだっこ」でなく、自分達の手で出来ることから取り組み、地域おこしが出来ないものでしょうか。私達は、白馬村の花木である「こぶし」を大切に守り育てて行きたいと思い、深空地区に素晴らしいこぶしが在るのに着眼し「四十九院のこぶし」と命名。「四十九院のこぶし保存会」を設立しました。会員は20数名ですが、お互いにお金を出し合い、その周辺の整備を行っています。こぶし周辺の草刈、藪切、又景観を考え「菜の花畑」を作り、訪れた観光客に大変歓迎されています。一人ひとりが「ずくを出し、本気でやる気」を起こせば「水や空気」が美味しく自然環境に恵まれた白馬村は素晴らしい村に成ると思います。



大人社会

塩島 山本 美幸

平成21年の幕開けは、誰もが想像を絶するものでした。白馬での36年間。豪雪に始まり、観光客そして村内の様変わり、景気の絶頂期、そして混迷、衰退。今日世界の情勢がそのまま日本に連動する時代、白馬村での様々な変化は、日本のそれと全く同じ縮図のように身近に感じられます。年代に関係ない拝金主義（損得勘定優先）、迎合主義（小手先戦術）等の蔓延。人間も質の低下に拍車が掛かります。身の丈に合った生活が楽しめる事。自分の内に確固たる信念を持ち、世の中がどのように変化しようとも、それに迎合することなく、損得、勝ち負けに視点を置かず年月を重ねる。自分が意図せずして追い風を感じた時、はじめて地道な努力が報われる。すべてに通じることではないでしょうか。どんな分野においても本物を目指すために、小手先では通用しないことを身をもって伝えられる大人達が必要です。



白馬マイスターに従事して

飯森 倉科 光男

白馬村観光局に依頼され、十数年、時代の流れと共に社会も大きく変化し、白馬村への観光客も年々減少してきました。伝承ものづくりの担い手が途絶えてしまいで残念ですが、近年文科省では体験学習の教育効果を認め、全国的に実施されるようになりました。現代の生活も文化的になり過ぎ、何でもお金さえ出せば手に入るため、玩具や遊具には不自由を知らない現状となっており、今の子供達にはあまり良い状況とは言えません。そこで、体験学習の必要性が見い出されたと思われま。自然環境に恵まれている白馬村でも身近にある素材を活用し、子供達に教えてやることにより、わらざうりや竹馬、竹とんぼ等、忘れかけていたことを復活させて、自らの物造りの楽しさや喜びを感じていただき、昔から伝わっている物造りを大事に絶やさないようにして行きたいものです。

編集後記

謹んで新春のお喜びを申し上げます。2009年の議会だより発行に当たり、村民の皆様には、平素のご支援・ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。今年も、紙面作りには、読んでいただける議会だよりを目指して参ります。

新しい年を迎え、厳しい財政状況の中ですが、夢の持てる村づくりのため、頑張るべきだと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

柏原孝至記

議会報調査編集

特別委員会

議長 西澤 功
委員長 柏原 孝至
副委員長 渡辺 俊夫
委員 池田 和良
委員 小林 英雄
委員 太谷 正治
委員 宮尾 幸典
委員 高橋 賢一

白馬議会だより 87号
平成21年1月30日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 尚北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.vill.hakubanagano.jp/gikai/ E-mail gikai@vill.hakubanagano.jp